

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 4月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	1275600128		
法人名	(有)グループホーム 光		
事業所名	グループホーム 光		
所在地	〒289-1722 千葉県山武郡 横芝光町日篠 2339-15 (電話)0479-84-0999		
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-15-10		
訪問調査日	平成19年3月21日	評価確定日	4月20日

【情報提供票より】 (19年3月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 8月 1日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	9 人
常勤	4人, 非常勤 5人, 常勤換算 5.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1階建て	1階 ~	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,166 円		

(4) 利用者の概要 (3月 7日現在)

利用者人数	6名	男性	2名	女性	4名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 80歳	最低 66歳	最高 92歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	サクラクリニック 石毛医院 松尾リハビリテーション
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> ・建物が南向きで日当たりが良く、居室・廊下・共有空間もゆったりとしています。前庭も広く、周囲の環境も畑風景が広がり環境に恵まれています。 ・家庭生活の延長で、そのまま自然に、畑を耕したり・収穫したり・近所の人達と茶飲み話等して暮らしていけるホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 町村合併や引越し(1月に6人収容の2階建から9人収容の1階建てに転居)が重なったため、前回の改善課題(市町村との連携・地域とのつきあい等)は改善されておりません。新しい住所で意識して取り組み始めている状況です。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>問題意識をもち、町村・地域に働きかけている段階です。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議開催に向け、家族有志・役所・地域の関係者(町内会・民生委員)に声をかけている段階です。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>意見の聞ける家族には、直接意見を聞き対応していますが、今後は幅広く意見を聞くことを検討しています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>以前からの、事業所を開放した近隣の方との茶飲み話やボランティアさんの受け入れ等は継続していますが、現在の引越し先では目下、地域の行事・活動に参加を申し入れている状況です。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境の下で、利用者がその能力に応じた生活活動により、可能な限り自立した生活が営めるような理念構築に努めています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員一同の目につくところに理念を掲げ、毎日心がけています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	1月に引越したばかりですので、現在の地域の活動・行事参加を申し込んでいるところです。以前からの茶飲み話の交流・ボランティアの受け入れ等は継続しています。	○	現在の引越し先で、積極的に地域に働きかけ行事参加し、又従来からのおつきあいを大事にされますことを望みます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善課題が地域とのつきあい・市町村との連携ですが、その問題意識を持ち、それぞれに働きかけている段階です。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議開催に向け、関係者に声をかけている段階です。	○	できるだけ早く、関係者を招集されまして、会議を開催することを強く望みます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町村と常に連携しています。合併により担当者によって対応がかなり異なりますが、状況に合わせて対応しています。	○	今後は、直接の申し入れや色々の関係者や会議を通じて町村の理解と協力を頂けることを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、家族へお便り(行事の写真同封)で近況報告しています。又実費精算のため、領収書を添えて請求書を送付しております。会報は、年数回〔不定期〕発行し、その都度送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に、意見・苦情等を聞いており、又、意見箱を置き、聞くようにしております。	○	家族アンケートをとったり、地域推進会議で意見をお聞きすることを望みます。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事前に、従来から慣れ親しい職員から伝えるよう配慮しています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	近くのNPO講習会や、町村主催の講習会に参加するよう指導しています。又、新人はベテランの職員とペアで組ませ、日々指導を受けられるようにしています。要領書を置き皆が閲覧できるようにしています。	○	新人育成のマニュアルの作成と、ベテランが指導員になりそれによる社内研修会の開催を望みます。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ町村に同業者がないので、隣の市町村の連絡会に積極的に参加しています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなりサービスの利用をするのではなく体験入所をしていただき徐々に慣れていただくようにされています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、される側という意識をもたず、お互いが協働しながら生活が出来るように場面づくり(畑仕事・買物・洗濯たたみ・布団干し)や声かけをされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員、家族、本人の情報を密にし、把握に努めています。食事、排泄、歩行等職員の気付きを記入する用紙が個別に用意されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員・ドクターの意見のほか面会時、電話、手紙などで家族からの意向を伺ったりして介護計画の作成がされています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月に1回の往診があり往診日誌を参考に見直しをおこなったりしています。変化が生じた場合には家族、本人、職員ドクターなどと話し合いをし現状に即した対応がされています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	まだ、多機能性を生かした支援をするに至っていません。	○	引越して2ヶ月あまりなので近隣との関係は徐々に出来つつあるので今後期待したいと思います。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に一度の往診の他必要に応じて随時受診できるように体制ができています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族からは終末期まで看取ってほしいとの要望がだされています。看取りの時は出来るだけ家族にも泊まって立ち会ってもらい看取りをしました。	○	終末に対する対応指針を定め、家族・医師・医療機関との話し合いを行い今後の支援を望みます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	「禁句集」等活用し、言葉がけの仕方など職員同士で常に注意しあっています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調に配慮しながらその日、その時の本人の気持ちを尊重し本人のペースを優先するように心がけています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器等は本人の好みのものを使用。職員は利用者一人ひとりのできることを把握し(豆をもいだり、野菜を畑に取りに行ったり)食事作りや後片づけなど共に行っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一般的には週2回。本人の希望も取り入れて朝でも入れるように配慮されています。また、排泄で失敗された方はそのつどシャワーを行ったりして清潔に努めています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は、利用者一人ひとりの力を活かした役割を把握し、楽しみごとや、得意なことへの支援がなされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩だけでなく、花見、食事会(誕生会/クリスマス会)等に出かけたり、近くの畑に野菜の収穫にと、なるべく戸外に出るように支援されています。また、全員で出かける他個別の外出にも対応されています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	原則昼間は鍵をかけないで、夜間鍵をかけています。職員一同で、徘徊される利用者に常に気配りしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	以前の所では、消防訓練を実施していましたので、今後は町内会で実施する場合参加する旨声をかけています。緊急災害時の対応手順を掲示しています。	○	消防訓練は、年2回位実施され、地域の方に災害時ご協力頂けるよう努力されますことを望みます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事ノートがあり、利用者一人ひとりの食事量・残渣・水分量等が記録されています。水分については一日を通して必要量が確保できるように対応されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物が殆ど南向きの日当たりの良い平屋造りになっており、廊下・共有空間もゆったりとしており、前の庭・その外側の畑風景はほぼ理想的な居心地の良い環境になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室もゆったりとしており、利用者の希望・条件に沿い、畳にしたり低いベッドにしたりしています。又、本人の希望する持ち物(小ダンス・写真・書物等)を置いています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。